

Q6 震災復興は進んでいると思いますか? ⇒ 「思う」
復興が進んでいると思う理由を教えてください。

被災した建物が建て直されている、当方の施設も被災したがリフォームも住み通常の生活が続けられている。

買い物をするところが復活したから

建物の変化(新築)にて

自施設の復旧仕事も終了しインフラも整備されているため。しかし仮設住宅でも生活をされている方も多くおられ差があると思う。

多くの課題はありつつも進んでいる。

みなし仮設に住んでいる保護世帯の家さがし、少しずつ物件が出てきている。

ハード面ではずいぶん復興していると思う。だが、生活復興に関してはあまり見えていないと思う。

市内の街並みが整ってきている

生活を再建した人々に接することが多くなったから

仮設住宅からの退去者の推移

震災を機に困っているといった話を聞かなくなった

住宅建設など進んでいる

表面の建物が回復している

トラックが減ってきた。道路状況が依然と同じになってきた

仮設団地の住民の方が家をたてている。支援でつながっている。

一部は進み、しかし多くの高齢者住宅は遅れている。

建物の復興と仮設から出て生活する方がでてきているため

死者が少なかった阿蘇市では未だに国道が不通でJRの開通の見通しも立っていない。そのため中学3年生は大津町では熊本市内の高校受験をあきらめる生徒が激増し教育面で陸の孤島になっている。

街中は復興も進み、にぎわいも戻ってきた。

未だに仮設住宅の利用を余儀なくされている人も多くいるが、道路、、橋等交通インフラは整備、公共施設等の利用等復興は完全ではないが進んでいると思う。

住宅等の再建

地震を経験した人が、あの時は当時を振り返ることができるため

被災した方も家を修理したり別の場所に落ち着いて生活している、

ずいぶん周りが以前のような生活に戻っていると感じる

仮設住宅より戻ってこられたりして道も整備されているため

建物の建て替えが進み、復興は少しずつ進んでいると思う。仮設の方の状況はわかりません

地震の話が減った。ボランティアなど支援者が減り、町民が様々な活動に取り組みだした。

自分の仕事の範囲ではおおむね再建された方が多い。

日常生活が震災前と変わらない状況で過ごせている。もちろんそうでない人も多くいることは承知しています。

仮設住宅から元住んでいた地域へ戻られる方や店の営業の再開等

地震で解体され、空き地となったところに家やマンションが建ったり家屋の復旧作業がおおむね終了している。

仮設の状況や街の状況

道路状況が改善し、渋滞緩和につながっている

全壊した職場も新工場が落成して以前の勤務状況に戻った。我が家もリフォーム済、完全ではないが前進している。

大きな店舗がリニューアルオープンしたり、他大規模店舗が益城に建設予定と聞く。病院の立替も進んでいる。

進んでいる部分とそうでない部分があると思っています。

道路などが整備されてきた

震災時、入所・短期入所していた方の出入りや状態が落ち着いてきた。

完全ではないと思うが住まいの場を再建したり、している途中であったりと、一定程度の目途は整いつつあるのではないかと思う。

家の周りが新築や家の修繕等が進んでおり店も開業しているため

徐々にではあるが家の解体、建て直しが進んでいるから

仕事(送迎業務)で、益城町に行きますが、更地であった場所に住宅ができたり、お店も営業開始したりと、以前の生活に近づいていると感じます。ですが、仮設住宅での生活をしておられる方もおられるために、今後も継続した支援は必要と感じます。

全体というよりも、徐々に生活を取り戻し始めていることを目にします。まだ、大変なことも少なくないと思いますが。

自分も周りの人も普通に生活できているため

進んでいないわけではないので途中という感じ

私自身の周囲では住居、職場状況などの話を聞く限りは、ある程度元の生活を営むだけの環境整備がなされているからです。ただ、テレビや新聞など報道をみると依然として進んでいない状況もあることは事実です。

進んでいるかいないかという質問だと確実に進んでいると思う。資格を取った年に復興の仕事に携わったが仮設に入っている人たちが大変な思いをしながらも自立再建をしていかれたのを見ている。

整地が進んでいるから

停止はしていないため

施設の修理が進んでいるため

部分的にだと思うが、様々なボランティアの声掛けが減っている

インフラや建物等の復旧が進んでいるため。再出発を切ろうと前向きに生きている人がいるため。

住宅の再建や道路や橋などの修理が進んだ。

熊本城の再建がスタートしたので

建物も取り壊され、新しくなり再始動している人、物も多いので

みなし仮設に居住していた高齢の方がだいぶ定住できる住まいに移っていかれる実感があるため。

少しずつ、道路整備

わからない

仮設住宅の閉鎖が始まっており、また、大型商業施設等

更地に家が建ち始めた

ゆっくりではあるが、道路や擁壁工事等が進んでいる

ハード面や復興できる力のある方達は、実際たくさんいるが、そうでない方もいる

公営住宅の進捗状況、リバースモーゲージの有効性を報道で見ると、それぞれの家庭が仮住まいから自立してきていると思われるため

少しずつ住宅再建もできている

建物道路インフラの整備

仮設住宅からの退去が約4割であり、住まいについて一定の目途が立った世帯が増えていると思うから

復興が終わったとは思わないが、住宅の再建や道路などの復旧が進んでいると思うため

新しい建物が建ったり更地が増えた。我が家の修理が終わった。橋や道路の修理が進んでいる

まだまだと思うが、職場では震災の教訓とを基にマニュアルや訓練などリアルになり、環境も建物が建ち始め倒壊した建物などもどんどん更地になっているため

道路や建物など新しくできてきているから

少しずつ、復興に向けて皆さんが前を向いて動いていけると思うので

周囲の人々の生活再建が何とか進みつつある。しかし・・・難しいケースもあり滞っているところも少なくはない。

空き地もまだ目立つが新しい建物も増えている

インフラは整ってきつつある(まだ十分ではないが)新しい建物が多くなってきた。人の消費意欲も感じる、レジャーやイベントに人が多く集まる

職場の近くでも仮設・みなし仮設に入居を余儀なくされている方のため、大規模な公営住宅の選択が進んでいる

少しずつ元気が戻ってきたように思う。また、地震直後は不安がっていた子ども達が落ち着いて過ごせるようになってきた。

施設において、災害に関係する相談が以前より落ち着いているから

建物や交通など目に見える分野での復興は進んでいると思う。日々のニュースや新聞等でも震災に関連するものは随分減ったと思うから。

被害を受けた家屋が新しく建て替わっているのを見るので。

具体的には分かりませんが、様々な経験を活かして進めていこうという動きが感じられます。

更地が多くなった。

道路復旧等で街並みが変わっている。

先日研修会でプレハブの仮設住宅の空きが目立つようになったと伺いました。東区でも更地、新しい住宅もたっているようです。少しずつですが進んでいると思います。一方で復興に差が出ているとの話も伺っています。

道の整備や建物の解体などが進んでいるため

職場の建物の建て替えもすすんでいるため

自宅再建者が増えた。仮説を出る目途がついた方が多くなりつつある。道路の整備が進んだ

直接的な被害が無かったため実情はわからないが、報道等で「少しずつ進んでいる」などを目にするため

玉名地域においては不便さを感じないところがあります。他の地域ではまだ進んでいない所・点も見られますが。

新しい住宅が建ち、仮設住宅やみなし住宅から戻って来る地域住民が増えてきた。徐々にではあるが復興は進んでいると感じている。

自宅の再建や商業施設の再開など少しずつでもできているから

災害公営住宅等ハード面の整備がすすんでいる事。仮設住宅からの生活再建がすすんでいる事。

施設の再建 インフラ整備が進んでいる。

ブルーシートの数が少なくなった。空き地が多くなった。道路などの工事が復興している。まわりの多くの人が地震前の生活が出来ている。

徐々に進んでいる。

道路、施設、個人住宅など目に見える形で変化が見られるので。(ただ、仮設住宅は減少しているように見えないので、入居者の支援がどれだけ進んでいるのか良くわからない)

少しずつ建物等の再復興が見える。ただし、人の心身面は別と言うのは認識している。

住まいの再建や道路、公共施設等の復興は進んでいると思います。被災者の生活、心理的な面ではまだまだなのかもしれませんが少しずつ進んでいるのかなと思います。

公費解体も終わり、少しずつ新しい建物も出来ている。日常会話でも震災の話はほとんど出ない。熊本城復興のニュースもうれしく思う。

現在の職場で熊本地震を直接の原因とした精神症状悪化による入院がほとんどで見られなくなった。

被災した住宅が解体され、建て替えが進んでいる風景を見て進んできていると感じる。しかし、まだみなし仮設や仮説に住まわられていて、安定した生活を取り戻せていない人も多いので十分復興しているとは言えない。

私の周りではあるが、元の生活を取り戻しているため。

熊本城や阿蘇神社の復旧作業が進んでいる事。道路の整備が進んでいる事。

道路建物などインフラ整備は進んでいる。

充分といえない面もあるが、行政を中心に被災者の生活支援に取り組まれているから

震災前の生活に戻ったため

シンボルの熊本城の様子。激震地での避難所に暮らしていた人が再建の目途がたったとの声を聞くので

全く進んでいないわけではないため

ささえあいセンターの相談員により、再建に向けて意識確認ができ見通しが明るい。

道路整備、仮設住宅からの自立など。少しだが、前に進んでいると思う。

本当の復興にはまだ時間がかかると思うが、前進はしていると思う。諸状況がもう少しスピードアップで進行することを願う

少なからず、衣食住が確保され、生活が落ち着いてきたように感じるため

少しずつ、危険箇所等の解体が進み、新たな家が建つ等、生活が取り戻されてきていると思う。商業施設等も整いはじめ、不便さは減ってきている。

自宅再建がすすみ仮設住宅で生活する入居者が減少してきている。しかし、災害公営住宅への入居待ちの人はほとんどが高齢者の独居。課題は進行中。

仮設住宅、みなし仮設など、住宅問題は進んでいませんが、日常の生活面、精神面など少しずつ日常に戻っているように感じる。

震災をかてとして、様々な互助のシステムが構築されてきてる

仮設でも家屋の再建にしても全て元どおりになるなら、前提として被災者は前を向いている。これが復興の事由だと思う。

災害公営住宅が完成したり入居も進んだりしている為

少しずつであるが、交通機関、建物等の復興は実際なしている

詳細までわからないが、進んでいないということはないと思う。

選択肢があれば微妙である。インフラの整備については進んでいると思うが、熊本地震を振り返り、その課題を抽出して対応策を検討することには至れていない点が多い気がします。全く進んでいなくはないが、福祉従事者として実感できるレベルにまで至っていない印象があります。

各復興支援、支援制度が実施されており、改善できている

被災家屋が取り壊されさら地や駐車場が増えた。度重なる大災害のために忘れ去られようとしている・みなし仮設生活者の転居が進んだ

復興住宅の建設

更地になり住宅も少しずつ増えてきているし、災害復興住宅も立つ予定になっているため

相談内容' (主訴) について、地震に関する内容が少なくなってきた。街の風景が震災当時と変わってきた。

どこまで日常が回復したか個人によって被害の大きさの違い。一概に言えないが、ハード面では道路の整備、建物の解体。建設が進んで、仮設住宅から新しい居住地への転居等進んでいると思う。

被害が少なかった地区の工事などが最近施行されている

職場の近所の災害ゴミの除去が進んでいるため

屋根が元にかえてきた

景観の変化

阿蘇の道路など復興している

壊れた家などの撤去が終わった感じがしたので。しかし実際被災された方々のことはあまり知らないのが実際のところだ。

新聞やTV等を通して、復興の状況がわかる

地震後の道も建物も多くが改善している。未だ着手できない(モノ)もあるにはあるが、2年前と比較してよくなっている部分もあると思うから。

徐々に進んでいると感じるところは、住民への支援と思います。

ハード面(道路、住宅等)の整備。ソフト面(人的配慮等)の充実等は進んでいると感じている

自宅再建等が増え、仮設から出られる世帯も増えてきている

Q6 震災復興は進んでいると思いますか? ⇒ 「思わない」
復興が進んでいると思わない理由を教えてください。

まだまだ仮設住宅で生活している方がいる。

仮設やみなし仮設からの次の住居のめどが立っていない人がいる。住宅の修理が手つかずのところがあるから

住宅など破損した人への支援が十分でない現実がある。

災害復興住宅や道路などまあ完全に復興が進んでいない。

テレビ等で仮設で生活している人がたくさんおられると聞き進んでいないと感じた

ハード面やインフラは整ってきたが、近隣の戸建てでは内装はそのままに使用している家族が多い

インフラは進んでいるが住宅問題や環境が変わりすぎて精神面のケアが心配

今なお仮設住宅に多くの方がおり、みなし仮設住宅にも入居されている避難者の孤立化が深刻であり、見守り体制など課題を感じます。

職場にも、まだ再建できていない方もおり、2年経て家の取り壊しなど目立っているから

住まいの確保ができていない

仮設での生活から脱却できていない

まだまだ仮設住宅で過ごしている人がいるため

それぞれの生活実態で貧困の格差ができてしまっている

みなし仮設、仮設住宅に住んでいる人が安心して生活すること、次の生活に向けての場が不十分

インフラは復興したが、被災者に対する支援がまだ行き届いていないと思う(心のケア、経済再建支援など)

仮設住宅に住んでいる人もまだ多くいるため

表面上、ハード面は経過する整備されていきますが、心の面等、きずななどソフト面は未だ回復していないのではないかと。

益城町や西原村の現状がわからなかったので判断が難しいので思わないにしました。

進んでいる所(人)進んでいない所(人)の差がありどちらかにチェックはつけられない

時間とともに、ボランティア数が減少・目ち垂に取り上げられることが減少、孤独死等の問題

被災者の方がまだ普通の暮らしを取り戻していない

益城町において仮設住まいの方が多く、孤独死も出ている状況のため

仮設に住んでおられる方もいて、住宅問題が解決していないように思っています。十分に進んでいるとっていいのか。

益城、嘉島、御船にはまだまだ仮設住宅に住んでいる方がたくさんいるから

まだ仮設での生活を強いられている方々もおおり、弱者ほど今後の生活に不安を抱えているため

仮設住宅が今もあり、自分の家に住めない人が多いと聞いている。

状況がわからない

みなし仮設退去後の生活再建が考えられてない

場所によっては震災後そのままになっているところがあり復興とは言い難いと思いました。

益城などに行くことがあるが、道路はきれいになっているが人通りが少なくコミュニティを感じる事ができない。

熊本市内は進んでいると思うが、いまだ益城町や南阿蘇村のことを新聞やテレビで報道されているため。

仮設住宅問題

多くの方が仮設住宅で暮らしている益城町の様子を見て。

復興の具体的な情報公開が少ないと思われる

仮設に入っている人も多い。メンタル面に対してもケアが遅れていると感じる。

今でも仮設住宅で生活されている方々が多い。また、長期化している。いわゆる生活弱者の方々の生活再建が進まない限り復興は終わらないと思う。

未だ仮設住宅で生活していくしかない方々がいること。

仮設住宅からの転居がなかなか進まない。

まだ仮設入居者が3万人近い

自宅周辺に更地や管理地がまだまだ多い。見なし仮設に住んでいる人に対して期限が迫っているにも関わらず、代替えの住居も決まっていない等

仮設で生活されている方がまだまだたくさんおられるから

医療費助成が打ち切られた。経済格差が広がった。新なる被災地への支援へ足が向かない

仮設住宅の方々の問題。メンタルヘルスケアが長期的に継続されているのか。新聞を読む限り進んでいないのではと思う。

総論的には少しずつ進んでいると思うが、住居・街づくり等課題はまだまだ残っている